

令和5年度
(第18回)
松山市小学校
情報教育研修会

「共に創ろう！」GIGAが拓く楽しい学び

— 松山の今とこれからの学び —

主催 松山市教育委員会 松山市小学校情報教育研究委員会
共催 放送大学 愛媛大学教育学部 デジタル表現研究会 (D-project)

【日時】 2023年8月7日(月) 9:30~16:30 (9:00~ 受付開始)

【会場】 全体会：愛媛大学南加記念ホール
分科会A：愛媛大学教育学部本館 201 講義室
分科会B：愛媛大学メディアホール
分科会C：愛媛大学教育学部本館 401 講義室、同 402 講義室
分科会D：愛媛大学教育学部本館 202 講義室

【持参物】 タブレット端末、モバイルルータ

9:00	9:30	9:35		12:00	13:30		16:20	16:30
受付	開会行事	全体会		昼食・移動	分科会		閉会行事	
		講演	9:35~10:20		4分科会A・B・C・D			
		実践発表	10:20~11:00		ワークショップ	13:30~16:20		
		パネルディスカッション	11:00~12:00					

全体会

(9:30~12:00)

【講演】(9:35~10:20)

演題「学びを拓く Next GIGA」

中川 一史 先生 (放送大学 教授)

【実践発表】(10:20~11:00)

題「相手意識を大切にして学びをアウトプット ~scratchをつかって~」

坂本 成斗 先生 (松山市立新玉小学校)

題「NIE に生きる 1人1台端末の活用」

若宮 磯一 先生 (松山市立小野小学校)

代表質問者： 佐藤 幸江 先生 (放送大学 客員教授)

【パネルディスカッション】(11:00~12:00)

題「GIGAの今とこれからの学び」

コーディネーター： 佐藤 幸江 先生 (放送大学 客員教授)

パネリスト： 岩崎 有朋 先生 (札幌国際大学 教授)

都築 伸二 先生 (愛媛大学 教授)

石田 年保 先生 (松山市立椿小学校)

分科会

各分科会 (13:30~16:20)

A 「STEAM 教育ってなんだろう? ~教科を横断した授業づくり~」

先生方は STEAM 教育という言葉を知っていますか? 初めて聞く方、少しは聞いたことある方、興味がある方等、十人十色だと思います。どんな先生方でも大歓迎です。子どもたちもワクワクし、活動にのめりこんでいきます。

ぜひ、一緒に「STEAM 教育」の第一歩を踏み出してみませんか?

WS 担当:	松山市立新玉小学校 教諭	坂本 成斗	先生
WS 担当:	浜松市教育委員会	菊地 寛	様
指導助言者:	札幌国際大学 教授	岩崎 有朋	様

B 「GIGA をもっと楽しもう! ~教育アプリで子どもも教師もワクワク~」

Microsoft アカウントを活用しないともったいない! Microsoft アカウントでログインして活用できるアプリやその活用方法などについて、実技を伴いながら考えてみませんか? 「kahoot!」、「Padlet」の有効な使い方について、一緒に学びましょう。

WS 担当:	松山市立椿小学校 教諭	東村 浩美	先生
指導助言者:	前金沢学院大学 講師	山口 眞希	様
指導助言者:	放送大学 教授	中川 一史	様

C 「テクノロジーを活かして、いきいきと表現できる、あたたかな学級を創ろう!」

子どもたちがいきいきと表現している学級、先生と子どもたちの深い信頼関係で結ばれたあたたかな学級。この分科会では、表現力や学級経営に役立つ Teams の様々な機能の活用を学びます。内容紹介 (①OneNote、Sway 等 Teams の各種機能 ②リフレクト・称賛機能、Powerpoint を活用したフォトポエム創作)

WS 担当:	松山市立椿小学校 教諭	石田 年保	先生
WS 担当:	日本マイクロソフト株式会社	土井 喜博	様
指導助言者:	愛媛大学 教授	都築 伸二	様
指導助言者:	愛媛大学 准教授	河村 泰之	様

D 「読み解き新聞ワークシートの活用提案~探究的な学びの入口に~」

新聞を読むという環境が失われつつある現代社会。社会への窓である新聞記事をもとに、課題の設定、情報の収集という探究的な学びの入り口を体験するワークショップです。もちろん、タブレット端末を活用します。ご一緒に、活用に関して考えてみませんか。

WS 担当:	関西大学大学院	海道 朋美	様
指導助言者:	放送大学 客員教授	佐藤 幸江	様

講師紹介

中川 一史 先生 (放送大学 教授) <全体会議演、分科会 B 指導助言>

博士 (情報学)。中央教育審議会初等中等教育分科会「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた学校教育の在り方に関する特別部会」(委員)、文部科学省「GIGA スクール構想に基づく 1人1台端末の円滑な利活用に関する調査協力者会議」(委員)、D-project (デジタル表現研究会) 会長などを歴任。様々な学校や自治体の実践研究の指導・助言にもあたる。著書は、『Face to Face の教育から、学びの Side by side へ Microsoft365Education を活用した小学校の学級づくり・授業づくり』共著 (明治図書、2022)、『GIGA スクール構想[取り組み事例]ガイドブック 小・中学校ふだん使いのエピソードに見る 1人1台端末環境のつくり方』共著 (翔泳社、2022) など多数。

佐藤 幸江 先生 (放送大学 客員教授) <実践発表代表質問者、 パネルディスカッションコーディネーター、分科会 D 指導助言>

金沢星稜大学人間科学部教授を経て、2020年より放送大学客員教授。文部科学省「学校DX戦略アドバイザー」、JAPET&CEC「情報活用能力育成事業」(委員)、「日本教育メディア学会」編集委員、「AI時代の教育学会」理事、「日本STEM教育学会」事務局、パナソニック教育財団専門委員、教科書センター評議委員、「デジタル表現研究会(通称 D-pro)」(副会長)等を歴任。各地域のICT推進事業や各学校における校内研修の講師等を務める。近著に『カリキュラム・マネジメントで実現する学びの未来』(翔泳社、2020)、『小学校国語学習者用デジタル教科書徹底活用ガイド』(明治図書 2021) など。

岩崎 有朋 先生 (札幌国際大学 教授)

<パネルディスカッションパネリスト、分科会 A 指導助言>

4年前まで中学校理科教諭 (ICT活用と理科の2つの領域でエキスパート教員として認定)。令和2年度より鳥取県教育センターに異動し、GIGAスクール推進課係長として、県内のGIGAスクール構想の推進に関する研修や施策に関わった。現在は、札幌国際大学 全額共通教育部 情報教育部 教授。平成30年には日本教育情報化振興会主催のICT夢コンテストで教科横断の実践が評価され、文部科学大臣賞を受賞。また、文部科学省ICT活用教育アドバイザーやICT夢コンテスト2023の審査員も担当中。

菊池 寛 先生 (浜松市教育委員会) <分科会 A WS 担当>

浜松市立雄踏小での経験を経て、本年度より浜松市教育委員会所属。浜松市教育研究会情報教育部副部長、部長の経験。日本メディア学会・STEM教育学会等で数々の研究を発表。D-projectでは、STEAMキッズプロジェクトのプロジェクトリーダーとしてご活躍中。2021年には、教育委員会対象セミナー「GIGAスクール構想 ICT機器の整備・活用」で講師を務められた。

山口 眞希 先生 (前金沢学院大学 講師) <分科会 B 指導助言>

元・石川県公立小学校教員、前・金沢学院大学教育学部専任講師。現在は情報教育アドバイザーとして金沢市教育委員会ネットいじめ防止講演会講師、(公社)教科書研究センター「デジタル教科書に関する調査研究」委員、NHK教育番組委員、NHK「GIGAスクール時代のNHK for School活用研究プロジェクト」研究アドバイザー、日本教育情報化振興会「情報活用能力の授業力育成事業」委員などを務める。

都築 伸二 先生 (愛媛大学大学院 理工学研究科 教授)

<パネルディスカッションパネリスト、分科会 C 指導助言>

様々な家電機器をネットワーク接続するための電力線通信 (PLC) 技術や、映像伝送装置の研究開発に長年携わる。その成果の一部は、校内LANの構築や、テレビ会議システムを用いた小学校間交流に生かされてきた。また近年は、地域産業振興の観点から、今治地区で作られている大型貨物船にPLCを適用するための技術開発を行っている。松山市小学校情報教育研究委員会、インフラ整備等外部顧問として、松山市のICT環境の整備を支援する。

河村 泰之 先生 (愛媛大学 教育学部 准教授) <分科会 C 指導助言>

前職は情報工学系、愛媛大学で教育学部に着任してからは主に愛媛県内の情報教育に関わる。愛媛県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会に有識者として参加し、高校生おもしろ科学コンテストの出題委員 (情報) も務める。情報オリンピック日本委員会 地域密着型の学習支援講習会「レギオ」の愛媛会場開催に携わり、松山市小学校情報教育研究会の外部顧問として、松山市の情報教育を支援する。近年は徳島大学や香川大学などでも教鞭をとっている。

海道 朋美 先生 (関西大学大学院) <分科会 D WS 担当>

石川県の小学校教諭を経て、関西大学大学院にて学び直し中。「異文化間教育」を中心に研究。D-projectでは「新聞教材活用プロジェクト」のプロジェクトリーダー。子どもたちが、柔らかな感性で社会の出来事を感じ考える時間を通して、社会の出来事を語れることを追究している。

参加にあたっての留意点

- タブレット端末、各校配付のモバイルルータを充電して持参してください。各校で管理するタブレット端末やモバイルルータの持参にあたっては、所属長の了承を得てください。各会場にはコンセントが配備されていますが、使用台数には限りがあります。端末やルータは事前に充電量をご確認ください。
- 本研修会では、主に各校から持ち寄ったモバイルルータを使用します。各自でモバイルルータの接続方法について事前にご確認ください。複数の参加者がいる場合は、代表者がモバイルルータを持参してください。持参できない参加者は、他校のモバイルルータのネットワークを借用することになります。お知りおきください。
- 昼食はご自身でご準備をお願いします。昼休みの時間に周辺施設等のご利用も可能です。
- 分科会A（愛媛大学教育学部本館 201 講義室）、分科会C（同 401 講義室）、分科会D（同 202 講義室）会場のみ、持ち込んで飲食ができます。**分科会B（愛媛大学メディアホール）会場での飲食はできません。**
- 会場内に駐車場はありません。近隣のコインパーキングをご利用いただくか、自転車または公共交通機関でお越しください。
- 自転車は、愛媛大学の駐輪場に停めることができます。

会場案内図



分科会 A,C,D 会場
教育学部本館
 A: 2階 201 講義室
 C: 4階 401 講義室
 402 講義室
 D: 2階 202 講義室

分科会 B 会場
メディアホール
(総合情報メディアセンター 1階)

全体会会場
南加記念ホール